

露天風呂で笑顔を見せる避難所生活の子どもたち＝伊豆の国市の伊豆長岡温泉で



石巻の避難所から温泉の旅

伊豆長岡 親子ら61人「3週間ぶり」

東日本大震災で避難生活を送っている親子らに温泉で疲れを癒やしてもらおうと、三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島が企画した「心を元気にするショートツアー」の参加者が十五日夕、宮城県石巻市から伊豆長岡温泉(伊豆の国市)に到着した。

GW三島が企画
バスで約九時間の道のりで同温泉に到着した一行は、石巻市の学校などに設けられた避難所で暮らす親子ら計六十一人。二泊三日を過ごし、伊豆の国市内でイチゴ狩りなども予定している。

宿で友人と露天風呂



につかった阿部進之介君(ミは)「(湯船につかるのは)三週間ぶりくらい。気持ちいい」と笑顔を見せ、普段取り組んでいる「サッカーをみんなでしたい」と話していた。

有志として企画に協力している伊豆の国市の内田夏樹さん(ハミは)「子どもたちがしたいことを引き出せるように気を配っている。なるべく希望をかなえたい」。GW三島の渡辺

豊博事務局長は「重圧を取り去り、まずはリラックスしてもらいたい」と話した。ツアーは今後も行われる。

(酒井健)